**工　場　等　立　入　調　査　票**

|  |  |
| --- | --- |
| 事　業　場　名 |  |
| 所　在　地 |  |
| 事業場の代表者 |  |
| 業　　種 |  |
| 資　本　金 |  |
| 常用雇用者数 | 全従業員　　　　名社員　　　名その他　　　名 | 操業時間 | 定時操業 ： ～　　：交代勤務　　〔　有　・　無　〕 |
| 環境管理担当部課名および連絡先 | TEL：E-mail：FAX： | 担当者氏名 | 主：副： |
| 操業状況 | 設備の稼働率　　　％　季節変動　　　　〔　有　・　無　〕時間変動　　　　〔　有　・　無　〕 |
| 品目・取扱品 | 生産量／年 | 原材料・燃料 | 使用量／年 |
|  |  |  |  |
| ○生産工程図(フローシート)　・別紙１を作成し、添付してください。・汚水・廃液、排ガスを排出する施設を工程中に明示してください。・水質､騒音､振動､ダイオキシンに関する特定施設およびばい煙発生施設（VOC、粉じん含む）に該当するものは太枠で囲んでください。 |

**水質・土壌・地下水関係について**

|  |
| --- |
| ○特定施設（水質） |
| 特定施設番号※１ | 種　類 | 設置基数 | 使用する水質有害物質※２ |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |   |  |
| ※１　水質汚濁防止法施行令別表第１または滋賀県公害防止条例施行規則別表第１に掲げる番号を記入してください。※２　水質汚濁防止法施行令第２条に掲げる物質を記入してください。・有害物質使用特定施設の有無　〔　有　・　無　〕・有害物質貯蔵指定施設の有無　〔　有　・　無　〕→有害物質使用特定施設または有害物質貯蔵指定施設が「有」の場合、構造等基準の適合状況等を別紙２に記入し、代表的な施設の管理要領および直近の点検記録簿の写しを添付してください。 |
| ○用水量・排水量・下表を記入し、マスバランスシート別紙３を作成し、添付してください。 |
| 用水の種類 | 用水量（ｍ３／日） | 排水の種類 | 排水量（ｍ３／日） | 放流先 |
|  上水道 |  | 特定施設排水 |  | 公共用水域・下水道 |
|  工業用水 |  | その他工程排水 |  | 公共用水域・下水道 |
|  地下水 |  | 生活排水（し尿、食堂等） |  | 公共用水域・下水道 |
|  |  | 冷却水 |  | 公共用水域・下水道 |
|  用水量合計 |  | 排水量合計 |  |  |
| ○排水処理 |
| ・排水処理の実施の有無　〔　有　・　無　〕→「有」の場合、以下から処理方法を選択してください。（複数選択可）（物理化学処理・ばっ気処理・活性汚泥処理・凝集沈殿・凝集加圧浮上・砂ろ過・活性炭処理・pH調整・その他（　　　　　　　　　　　　　　　　）） |
| ○排水検査 |
| ・排水の自主検査の有無　〔　有（　　　回／　　年　）・　無　〕→「有」の場合、直近の検査結果の写しを添付してください。 |
| ○排水経路図 |
| ・別紙４ を作成し、添付してください。・工程排水経路、生活排水経路、雨水経路を明記してください。・排水口（雨水排水口を含む）を図示してください。 |
| ○排水の放流先 |
| ・公共用水域への排水の放流の有無　〔　有　（流末河川名：　　　　　　　）・無　〕 |
| ○土壌汚染・地下水汚染未然防止対策 |
| ・有害物質の使用履歴をチェックシート別紙５に記入してください。・指定物質の使用をチェックシート別紙６に記入してください。・監視井戸の有無　〔　有　・　無　〕→「有」の場合、その場所を排水経路図別紙４に図示し、直近の地下水調査結果の写しを添付してください。・土壌汚染対策法第３条第１項ただし書の確認申請または滋賀県公害防止条例第49条第１項（第50条第１項）ただし書の確認申請の有無　〔　有　・　無　〕 |

**大気関係について**

|  |
| --- |
| ○ばい煙発生施設 |
| 施設番号※３ | 種　類 | 設置基数 | 規模※３ | 燃料 |
| 法 | 条例 | 伝熱面積･燃焼能力等 | 重油,LPG都市ガス等 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| ※３ 大気汚染防止法施行令別表第１もしくは滋賀県公害防止条例施行規則別表第２に掲げる番号および規模を記入してください。 |
| ○揮発性有機化合物（VOC）排出施設 |
| 施設番号※４ | 種　類 | 設置基数 | 規　模（送風能力等）※４ |
|  | 　 |  |  |
|  | 　 |  |  |
| ※４ 大気汚染防止法施行令別表第１の２に掲げる番号および規模を記入してください。 |
| ○粉じん発生施設（一般・特定） |
| 施設番号※５ | 種　類 | 設置基数 | 規模（ｺﾝﾍﾞｱﾍﾞﾙﾄ幅等）※５ |
|  | 　 |  |  |
|  | 　 |  |  |
| ※５ 大気汚染防止法施行令別表第２に掲げる番号および規模を記入してください。 |
| ○排ガスの処理　 |
| ・排ガス処理の有無　〔　有　・　無　〕→「有」の場合、以下から処理方法を選択してください。（煙突・バグフィルター・湿式集じん施設・その他（　　　　　　　　　　　　　　　）） |
| 〇排ガス検査 |
| ・排ガスの自主検査の有無　〔　有（　　　回／　年）・　無　〕→「有」の場合、直近の検査結果の写しを添付してください。 |

**化学物質等について**

|  |
| --- |
| ○特定化学物質の管理 |
| ・ＰＲＴＲ法対象物質の使用の有無　〔　有 ・ 無　〕→「有」の場合、対象物質と使用量等を下表に記入してください。 |
| 対象物質※６ | 使用量（ｔ／年） | 貯蔵方法 | 漏洩防止対策 |
| 地上ﾀﾝｸ･地下ﾀﾝｸ、ﾄﾞﾗﾑ缶ﾍﾟｰﾙ缶、試薬ビン等 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ※６ 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善に関する法律施行令別表第１に示される第一種指定化学物質を記入してください。・「第１種指定化学物質の排出量及び移動量の届出」提出の有無　〔　有　・　無　〕 |
| ○ダイオキシン類排出施設（大気） |
| 特定施設番号※７ | 種　類 | 設置基数 | 規　模※７ |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ○ダイオキシン類排出施設（水質） |
| 特定施設番号※７ | 種　類 | 設置基数 |
|  |  |  |
|  |  |  |
| ※７ダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第１、２に掲げる番号および規模を記入してください。 |
|  |
| ○液体・粉類（燃料・油類・溶剤等）の保管､貯蔵の状況 |
| 物　質 | 使用量（ｔ／年） | 貯蔵方法 | 漏洩防止対策 |
| 地上ﾀﾝｸ･地下ﾀﾝｸ、ﾄﾞﾗﾑ缶ﾍﾟｰﾙ缶、試薬ビン等 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

**騒音・振動・悪臭関係について**

|  |
| --- |
| ○騒音特定施設（騒音規制区分：　　　　種） |
| 特定施設番号※８ | 種　類 | 設置基数 | 規　模※８ |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ※８ 騒音規制法施行令別表第１に掲げる番号および規模を記入してください。 |
| ○振動特定施設（振動規制区分：　　　　種） |
| 特定施設番号※９ | 種　類 | 設置基数 | 規　模※９ |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ※９ 振動規制法施行令別表第１に掲げる番号および規模を記入してください。 |
| ○悪臭物質 |
| ・特定悪臭物質の使用の有無　　〔　有　・　無　〕→「有」の場合、物質名と使用量等を記入してください。 |
| 物質名 | 使用量（ｔ／年） | 使用方法 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 〇苦情 |
| ・騒音・振動・悪臭に係る苦情の有無　　〔　有　・　無　〕→「有」の場合、その内容（時期、状況）を記入してください。 |
| 時期 | 状況 | 対策 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 〇自主検査 |
| ・騒音・振動・悪臭に係る自主検査の有無　〔　有　・　無　〕→「有」の場合、直近の検査結果の写しを添付してください。 |

**廃棄物関係について**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 産業廃棄物の種類※10 | 発生量（年間）〔　　　年度実績〕 | 収集運搬業者（許可番号） | 中間処理業者及び処分方法（許可番号） | 最終処分業　及び処分方法（許可番号） |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 事業系一般廃棄物の種類(オフィスごみ含む) | 発生量（年間）〔　　　年度実績〕 | 収集・運搬方法 | 処分先 |
|  |  |  |  |
| ※10 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第２条および第２条の４に定める廃棄物の種類を記入してください。注１）特別管理産業廃棄物については、名称の後ろに（特管）と記入してください。注２）汚泥は脱水処理施設使用の場合は、脱水前と脱水後の量を記入してください。 |
| ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出の有無　〔　有　・　無　・すべて電子マニフェストで運用　〕→滋賀県庁循環社会推進課あてに報告書を提出されている場合は、直近の報告書の写しを添付してください。・産業廃棄物保管場所の法令に基づく掲示板の設置の有無　　　〔　有　・　無　〕・多量排出事業者による産業廃棄物処理計画書の提出の有無　　〔　有　・　無　〕・焼却炉の有無　　　　　〔　有　・　無　〕・ＰＣＢ廃棄物の有無　　〔　有（ﾄﾗﾝｽ、ｺﾝﾃﾞﾝｻｰ、安定器、その他　　　　　 ）・無　〕・使用中のPCB使用製品の有無〔有（ﾄﾗﾝｽ、ｺﾝﾃﾞﾝｻｰ、安定器、その他　　　　　 ）・無　〕→PCB廃棄物もしくはPCB使用製品が「有」の場合、届出提出の有無〔　有　・　無　〕・特別管理産業廃棄物管理責任者　　〔　有（責任者氏名：　　　　　　）・　無　〕 |

**滋賀県CO２ネットゼロ社会づくりの推進について**

|  |
| --- |
| ○事業者行動計画書※11 |
| ・事業場におけるエネルギー使用量　原油換算　　　　　　ｋＬ/年　　　（算定年度：　　　　　年度）・事業者行動計画書の提出　〔　有　・　無　〕（提出要件：原油換算1,500kL/年 以上）・エネルギー削減、CO2削減に対する主要な取組の有無　〔　有　・　無　〕→「有」の場合、取組内容を記入してください。 |
| ○アイドリング・ストップに係る措置※11 |
| ・500m2以上の駐車場（概ね35区画以上）　　 〔　有　・　無　〕→「有」の場合・アイドリング・ストップに係る駐車場利用者への周知（掲示板設置等）　〔　有　・　無　〕 |
| ○自動車管理計画書の策定※11 |
| ・県内の事業場全体で100台以上の自動車の使用の有無　〔　有　・　無　〕→「有」の場合・自動車管理計画書の提出の有無　　　　　　　　　　　 〔　有　・　無　〕 |

※11 滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例に基づく計画書および措置。令和４年４月１日より「滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例の全部を改正する条例」が施行。

**フロン関係について**

|  |
| --- |
| ○第一種特定製品※12の設置基数 |
| 電動機の定格出力 | 簡易点検対象 | 簡易点検および定期点検対象 |
| 7.5kW未満 | 7.5kW以上 50kW未満 | 50kW以上 |
| 業務用空調機器 | 　　　　　基 | 　　　　　基 | 　　　　　基 |
| 業務用冷蔵･冷凍機器 | 　　　　　基 | 　　　　　　　　　　　　　　　基 |
| ※12 コンプレッサー等も第一種特定製品に該当する場合があります。詳細は、別添の調査票作成方法をご確認ください。（「フロン排出抑制法ポータルサイト」の「第一種特定製品の管理者等に関する運用の手引き」でもご確認いただけます。） |
| ・点検の有無　 簡易点検〔 有（点検頻度※13：　　　回／　　月） ・ 無 〕 　　　　　　　　　　　 定期点検〔 有（点検頻度※14：　　　回／　　月） ・ 無 〕・点検および整備に係る記録の保存の有無　　〔　有 ・ 無　〕 →「有」の場合、代表的な施設の記録簿の写しを添付してください。・第一種特定製品の廃棄の有無（過去３年間）　〔　有 ・ 無　〕→「有」の場合　・点検および整備に係る記録の保存の有無　　〔　有 ・ 無　〕　　　　　　　　・引取証明書の保存の有無　　〔　有 ・ 無　〕 |

※13 簡易点検の頻度

**全ての第一種特定製品**について、３か月に１回以上の実施義務があります。

※14 定期点検の頻度

7.5kW以上の**空調機器**について、7.5～50kW未満は３年に１回以上、50kW以上は毎年１回以上、

7.5kW以上の**冷蔵･冷凍機器**については、毎年１回以上の実施義務があります。

**環境管理体制について**

|  |
| --- |
| ○公害防止管理者等選任状況※15 |
|  | 必要な資格 | 統括者・管理者の氏名及び保有資格 | 代理者の氏名及び保有資格 |
| 公害防止統括者 |  |  |  |
| 主任管理者 |  |  |  |
| 公 害 防 止 管 理 者 | 水　質 |  |  |  |
| 大　気 |  |  |  |
| 粉じん |  |  |  |
| ﾀﾞｲｵｷｼﾝ |  |  |  |
| 騒　音 |  |  |  |
| 振　動 |  |  |  |
| ※15 特定工場における公害防止組織の整備に関する法律第３条、第４条、第５条および第６条に基づく管理者等の選任状況について記入してください。 |
| ○環境事故の想定訓練・体制 |
| ・想定される環境事故例を以下に記入してください。・環境事故対応に係る手順書等の作成の有無　　　〔　有　・　無　〕→「有」の場合、その写しを添付してください。・200年に一度の大雨が降った場合に想定される浸水深さ＿＿＿＿ｍ　※16 ※16「滋賀県防災情報マップ」[https://shiga-bousai.jp/dmap/（右下のQRコード）を参照の上、ご回答く](https://shiga-bousai.jp/dmap/%EF%BC%88%E5%8F%B3%E4%B8%8B%E3%81%AEQR%E3%82%B3%E3%83%BC%E3%83%89%EF%BC%89%E3%82%92%E5%8F%82%E7%85%A7%E3%81%AE%E4%B8%8A%E3%80%81%E3%81%94%E5%9B%9E%E7%AD%94%E3%81%8F)　ださい。・大雨時の浸水リスクの対策の有無　　　〔　有　・　無　〕・環境事故対応用資材の種類と保管量を以下に記入してください。・環境管理体制の構築の有無　　　〔　有　・　無　〕・連絡体制図の作成の有無　　　　〔　有　・　無　〕　　　→「有」の場合、その写しを添付してください。・環境事故対応訓練の実施の有無　　　　　〔　有　・　無　〕→「有」の場合、訓練の種類および実施日を以下に記入してください。対応訓練の記録があれば、その写しを添付してください。　実施日：　　　年　　　月　　　日 |
| ○環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｼｽﾃﾑ取得の有無　　〔有（ISO-14001、ｴｺｱｸｼｮﾝ21等）　・　　無 〕 |
| ○公害防止（環境保全）協定締結の有無〔有（相手先：　　　　　　）・　　無 〕 |
|  |

|  |
| --- |
| ○環境保全に資する独自の取組 |
| ・貴事業場で実施の環境保全に資する独自の取組について、事例があればご記入ください。（汚水負荷低減、化学物質の排出抑制、環境汚染事故の未然防止のための取組みなど）*例：○地元地域とのリスクコミュニケーションに関する取組について**○化学物質の段階的な排出抑制について**○油類、薬品等の保管方法など、事故の未然防止のための取組について**○環境汚染事故発生時の被害の拡大防止対策について* |
| 注）県内事業場における環境保全に関する取組の向上のため、研修会等で紹介させて頂くことがあります。 |

**環境保全に資する独自の取組について**